



公認心理師試験 27,876 名が合格

2018年9月9日に実施された第1回公認心理師試験結果が、2018年11月30日、心理研修センターより発表されました（北海道胆振東部地震が発生したことに伴う追加試験分を除く）。受験者数は35,020名で、27,876名が合格しました（合格率79.6%）。性別は男性25.0%、女性75.0%と、女性が全体の4分の3を占めています。年齢構成は31～40歳が最も多く、3分の1以上を占めました（右表）。

合格者は、心理研修センターに登録申請をし、公認心理師登録簿に所定事項が登録され、合格者が登録証を受領してはじめて、公認心理師の名称が使用できるようになります。センターによると登録手続きには2,3か月かかるということですので、2019年2月頃には、最初の公認心理師が誕生すると予想されます。

公認心理師合格者の年齢区分

年齢区分	人数(人)	割合(%)
～30	5,260	18.9
31～40	9,871	35.4
41～50	7,158	25.7
51～60	4,076	14.6
61～	1,511	5.4
計	27,876	100.0

2018年度 第2回研修会開催

テーマ：「学部及び大学院実習の実際」（仮題）
 日時：2019年2月9日（土）13:00～17:00（受付開始12:15）
 会場：キャンパスプラザ京都
 内容：当連盟の実習検討チームで検討中の「実習の手引き」「実習記録ノート」（仮称）等をご提案し、実習のあり方について踏み込んで議論するとともに、情報共有する予定です。
 参加資格：会員（定員200人：正会員校関係者、団体賛助会員関係者、個人賛助会員）
 参加費：1人2,000円
 参加申込：連盟ホームページ「総会・研修会等」フォームより
 ※ 詳細は、後日当連盟ホームページにてご案内いたします

臨時総会を開催致します

2019年2月24日（日）13時～14時、跡見学園女子大学文京キャンパスにて、臨時総会を開催致します。詳細は、ホームページ、メールの他、郵送でもご連絡致します。

児童心理司が増員へ

児童相談所などで児童虐待への対応を行う心理職、児童心理司が、2022年度までの4年間で大幅増員される新プランが、「虐待防止策を検討する関係府省庁連絡会議」（2018年12月18日）で決定されました。

現在1,360名いる児童心理司を、790名増員し、2,150名にするというものです。児童虐待に対する心理支援をチームの一員として行える質の高い心理職の人材をどう育てていくか、養成機関にとって重要なテーマとなります。

公認心理師の職能団体 日本公認心理師協会が発足へ

これまでの臨床心理士等の心理職の実績や経験を活かす形での公認心理師の職能団体が、まもなく発足いたします。入会募集の予告ホームページが公開されました（<http://jacpp.or.jp/>）。

日本心理臨床学会、公認心理師制度推進連盟、日本臨床心理士会、日本学校心理士会、スクールカウンセリング推進協議会、KHJ全国ひきこもり家族会連合会等が、協会の協力・協賛団体となっています。

当連盟へのご入会受け付け中

12月末現在、正会員は89校となりました。引き続き、公認心理師養成を行っている大学・大学院の正会員、団体賛助会員、個人賛助会員のご入会を受け付けています。会員となることで、公認心理師養成に関する貴重な情報が共有可能となります。ご入会申込みは、ホームページの「入会申込」フォームからお願い致します。

国からの重要なお知らせ（厚労省：公認心理師ホームページより）

大学における公認心理師の科目確認について、様式が一部変更となりました（<https://www.mhlw.go.jp/content/000412723.pdf> / 2018年11月22日付通知）。主な変更内容は以下の通りです。

- ① 開講科目確認書又は確認申請書に変更があったときは、当該変更を行った日から1か月以内に変更届を厚生労働省に提出
- ② 教員調書の様式の変更
- ③ 実習指導者調書の様式の変更

様式1「開講科目確認書」・様式2「確認申請書」については、大学および大学院で使用するWordの書式も、厚労省の公認心理師ホームページの「3通知等」にアップされていますので、是非ご確認ください。

公認心理師養成機関連盟 事務局

〒611-0041 京都府宇治市槇島町千足80
 京都文教大学内

E-mail: kouninshinrishikou@yahoo.co.jp

<https://psychologyteacher.jimdo.com/>

※ お問い合わせには連盟ホームページの「お問合せ」フォームをご利用下さい。